

## 平成 30 年度 高知市上下水道事業経営審議会（第 2 回）議事録

- 1 日時 平成 31 年 2 月 19 日（金） 午後 2 時～午後 4 時 10 分
- 2 場所 高知会館 3 階 飛鳥
- 3 出席者 委員（出席）  
井津 葉子，北川 一江，楠本 照夫 ， 谷 隆，長尾 達雄，  
那須 清吾，西森 やよい，古谷 純代  
（欠席）  
藤原 拓  
※ 50 音順 敬称略  
事務局  
山本上下水道事業管理者，杉本局長，弘瀬理事，楨尾次長，  
池総務課長，手島管路管理課長，岡崎水道整備課長，鎌倉浄水課長，  
松下お客さまサービス課長，坂本普及促進担当管理主幹，  
森岡下水道整備課長，長崎課長補佐，土居下水道計画係長，  
明神下水道施設管理課長，泉企画財務課長，高橋課長補佐

4 会議形式 公開

5 傍聴者 0 人

### 6 会議次第

- (1) 開会あいさつ
- (2) 第 1 回審議会等での意見を反映した高知市下水道中期ビジョン 2012～2018 改訂版～  
（案）の説明
- (3) 意見交換
- (4) 水洗化率向上への取り組みについて
- (5) 意見交換
- (6) 閉会あいさつ

### 7 配布資料

- 資料 1 下水道中期ビジョン（素案）に対するご意見と修正点 等
- 資料 2 高知市下水道中期ビジョン 2012～2018 改訂版～（素案）
- 資料 3 水洗化率向上への取り組み～目標水洗化率を目指して～

### 8 議事

事務局から資料 1，資料 2 を基に第 1 回審議会等での意見を反映した，高知市下水道中期ビジョン 2012～2018 改訂版～（案）について，また，資料 3 を基に水洗化率向上への取り組みについて説明が行われ，それぞれの説明後に，質疑応答が行われた。

## 主な意見等（高知市下水道中期ビジョン 2012～2018 改訂版～（案）について）

### 委員

人口密集地における公共下水道の優先的な整備として、初月、朝倉、鴨田地区が記載されているが、旭地区の北部も人口密度が高いため追記してはどうか。

### 事務局

現在、優先的な整備に取り組んでいる地区を記載しているが、旭地区も初月地区の整備後に整備を進める予定なので追記する。

### 委員

中期ビジョンの製本版は、全戸配布するのか。

### 事務局

製本版を全戸配布する予定は無く、ホームページからダウンロードしていただく形式を予定している。

### 委員

広報全体に言えることだが、カタカナ用語を使わずに、できるだけ日本語で丁寧に記述していただきたい。流行り言葉を使われても、わからないことが多い。

### 事務局

広報紙のほか、出前講座などで使う資料についても、日本語による丁寧な記述を心がけるよう努力する。

### 委員

紙媒体でストックする時代ではないので、ホームページ上で情報展開をして、いつでも見たい時に見られるというのは、非常に重要だと思うが、知りたいと思うことや、興味を持つきっかけとなる重要な部分については、スマホで手軽に見られるようにし、詳細な部分についてはダウンロードするといった、興味の入りの深さに対応していけるような情報発信にするといいのではないかと思う。

### 委員

見る側とすれば、情報はキーワードだけでピンポイントで知りたい。わざわざダウンロードしないのではないかと思う。

### 事務局

現在、広報の在り方について検討しており、重要な部分を絞って、すぐに見られるような仕組みも考えていきたいと思う。情報の発信については、スマホなども意識しながら検討したい。

### 委員

元号改正が控えている関係で、年度の書き方に苦慮しているのではないか。元号と西暦の表記が混在している。過去は元号表記、将来は西暦表記に統一するなど検討していただきたい。

## 事務局

年度の表記方法は、検討し、統一する。

## 委員

中期ビジョンの製本版を、出前講座や学校などで活用する予定はあるのか。これからは、データや表の数値を分類整理し、分析する能力が重要で、学校などでも訓練していくようだ。この中期ビジョンは、数値を読み取る訓練をしつつ、下水道に対する理解を深めることができ、社会分野において良い教科書になると感じている。

## 事務局

出前講座や出前授業は、持ち時間や参加する方の年齢層に応じて編集した資料を使って説明している。全部を説明するとなると、どうしても時間もかかるので、抜粋版などで対応することとなる。

## 主な意見等（水洗化率向上への取り組みについて）

### 委員

下水道へ接続していない理由の一つである、改造資金不足。これは、資金があれば接続すると置き換えていいと思う。接続は工事完成後の3年から5年が勝負である。下水道の布設工事中は関心があるが、工事が完成すると関心が薄れていく。接続に必要な平均的な資金はどれくらいなのか。

### 事務局

公共下水道へ切り替えるための工事費の目安としては、合併処理浄化槽が20～30万円、単独処理浄化槽が30～40万円、汲み取りが60～70万円。汲み取りは、便器の取替えが必要なので高額となる。

### 委員

例えば5年以内に接続すると、助成金を増額するなどしてみてもどうか。一時的な出費と入ってくる使用料と比べ、企業として、どちらが有利か検討する必要があるのではないか。

### 事務局

下水道への接続は、法で義務付けられており、従前は、市町村民税が非課税の世帯を対象とした助成制度と、接続に要する工事資金を銀行から借り入れる方を対象とした利子補給制度の2本立てで接続のお願いをしてきた。平成26年度に公営企業会計となり、使用料収入の視点から、平成28年度より新たにグループ助成制度を始めた。先行投資をして、使用料で回収していくといった、新たな助成制度の検討の必要性は感じているが、例えば10年間の使用料で回収を見込んでいたものが、5年で更地や空き家になり、回収できなくなる恐れがある。

### 委員

町内会の目標として、水洗化率のアップ、環境面の配慮を掲げている。町内会と上下

水道局が連携して取り組みたい。大都市の水洗化率は、ほぼ100%となっており、もう少し助成金を増額して水洗化率のアップに努めてほしい。町内会として協力するためには、できるだけ自己負担を減らしてほしい。企業として、損をしてまで助成金を増額してほしいということではない。

#### **事務局**

すでに接続されている方々に対する説明責任があり、すでに接続されている方々に、ある程度納得していただける金額にする必要がある。

#### **委員**

確かに、すでに接続している人に対しては、公平性に欠ける。昔は、局が直接貸し付ける水洗化のローンがあった。

#### **事務局**

直接貸し付けは、滞納処理のリスクがある。現在は、水洗化に要した工事費用を銀行で借り入れた場合の利子を、上下水道局が負担する制度となっている。

#### **委員**

水洗化率の向上は、行政と市民の双方の努力が必要であるが、例えば「接続後1年間は使用料が無料」など、お得感がないと難しい。不平等感はあるかもしれないが、水洗化率を高める何らかの策は必要だと思う。

#### **会長**

経営的には助成金を増額しても、採算が合えば実施したいのだろうが、公平性の面から実施していないのだと思う。しかし、公平性を確保しながら、既に水洗化された方が、不満にならない金額の限界点を探っていただきたい。また、各委員の意見を再確認して、どんなことが可能か議論するのがいいのではないか。水洗化率を大都市と比較するのは無理があり、無理がある所は経営目標として、修正してもいいのではないか。国に地方の実情を示すという意味でも、表に出してもいいのではないかと思う。

#### **委員**

新規整備地区に対し、下水道整備予定の情報発信が遅かったために、合併処理浄化槽で新築や改築が既に行われていたことを反省して、下水道の出前講座を開催し、早期の情報発信をしようとするのは理解できるが、さらに一步踏み込んで、なぜこの地区を整備するのかを説明し、住民から下水道の整備要望があれば、動きやすいのではないか。逆に、下水道は必要ないという意見が多ければ、下水道の整備をしなくてもいいのではないかと思う。また、下水道を整備することによって、自分たちの生活がどのように良くなるのかアプローチすることが重要だと思う。

#### **事務局**

下水道の整備は、都市計画法と下水道法を根拠に都市計画決定されており、市街化区域は、下水道で整備するのが基本である。しかし、効率良く生活排水処理施設の整備を

進めるために、下水道整備区域の見直しを行い、合併処理浄化槽区域に変更するなど、他部局とも連携して整備を進めている。また、下水道が整備されると側溝の掃除が必要なくなる、といったメリットもあり、団地単位、地域単位でのPRを今までも実施しているが、今後も色々と手法を検討したい。

#### 委員

携帯電話のような支払いの手法は取れないのか。接続に要した工事費を使用料に上乗せするような。

#### 事務局

債権が複数存在することとなり難しい。

#### 委員

何か画期的な助成制度が必要だと思う。早期接続者には優遇するといった、タイムセールのようなものも検討してはどうか。

#### 委員

本管を整備しても、水洗化してくれないと意味がない。地域によって水洗化率に差があり、下水道整備の要望がある地域を優先的にできないのか。

#### 事務局

現在も整備要望が強い地域を優先的に整備しており、これからも続けていく。現在、万々地区を整備しているが、住民が多い観月坂団地下水道が早期に下水道へ接続できるように、幹線管渠を観月坂団地まで先に整備するなど、使用料確保の観点からもメリハリをつけて整備している。

#### 委員

例えば、水洗化率100%のモデル地区の成功例をつくってみてはどうか。

#### 事務局

新規整備については、出前講座とグループ助成金で一定成果を得られると考えている。問題は既整備地区で、合併処理浄化槽と下水道の違いが感じられない。

#### 会長

色々な意見をいただいたので、体系的に整理する必要がある。取り組みについて項目として書いているが、追加するものがあれば、別の機会で検討してもらってはどうか。すぐに結論を出すのは難しいと思う。

#### 委員

空き家などの水洗化は、実質的に不可能なので分母から外してはどうか。統計上外するのは難しいのかもしれないが、このままでは水洗化率は上がらない。

## 事務局

水洗化率の算出方法は、決められているので変えられないが、アプローチの仕方を検討し、提案させていただく。

## ■会長

水洗化率の参考値を算出することも大事かもしれない。公式の数値とは別に、経営努力の数値を示すことも重要である。水洗化率の向上を含めた経営に関する議論は、次のステップで行いたい。

本日提示された、高知市下水道中期ビジョン 2012～2018 改訂版～（素案）については、概ね本審議会の意見を取り入れているので、了承してよろしいか。細かい箇所については、事務局と詰めの作業を行い、最終案を後日提示する。（全委員了承）